

『たっち』は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

たっちの発行は年3回です。次号の発行は令和5年6月10日です。

たっち

立川市教育だより

●今号の主な内容
 2面 … 令和4年度教育委員会表彰／教育委員の活動
 3面 … にじいろ学級開設／出張プラモデル教室を開催
 4面 … 第九小学校創立150周年／立川市の歴史と文化財

編集・発行／立川市教育委員会
 〒190-8666 立川市泉町1156-9
 ☎042(523)2111(市役所代表)
 立川市ホームページ
<http://www.city.tachikawa.lg.jp/>



友だちの輪、広がる。 交流するって楽しいね!

たちかわ市民交流大学を知っていますか？

どなたでも受講できる立川市独自の生涯学習のしくみ、それがたちかわ市民交流大学です。市内の学習施設や行政各部署のネットワークを基盤に、市民の皆さんが生徒になるだけでなく、時には先生にもなって、学びを通じて交流しています。

☎生涯学習推進センター市民交流大学係 ☎(528)6872

初心者向け農業体験講座

～野菜作りを体験して・楽しく収穫しよう



大きいのがいっぱい
 とれたよ!大根のおみそ
 汁また作ってね。



講座企画者もうれしい!

家族による参加も多い講座です。受講者の皆さんからは「採れたての野菜は新鮮さが全然違う」とよく言われます。

四季の折り紙講座

～夏から冬編



習った折り紙で自治会
 の掲示板の装飾。華やか
 がで明るくできました!



講座企画者もうれしい!

個人の学びだけにとどまらず、身近な家族や地域に、折り紙の魅力を広げていけることを実感できました。

「きらり・たちかわ」でさがしてみよう



たちかわ市民交流大学のさまざまな講座情報が載っています。



何歳になっても、
 音楽を学ぶのは楽しい!

クラシック音楽入門講座



あなたの知りたい、
 学びたいが満載!

子ども向け極地研講座「みてみよう多様な海洋プランクトンの世界」



体を動かして、
 生活をリフレッシュ!!

素敵にバレエストレッチ



好きなものが
 共通している仲間と
 出会おう!

美容と健康・素敵なヘアアレンジと簡単作りおきレシピ

あなたにあう活動がきっと見つかる!

「きらり・たちかわ」は、地域学習館、市役所、図書館のほか、モノレール駅(市内の一部駅)などの民間施設にも配架されています。表紙の★が目印です。また、市ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください!

教育委員の活動を紹介します

教育委員の令和4年10月から12月までの活動は下表の通りです。

活動実績(令和4年10月～12月)

10月7日(金)	東京都市町村教育委員会連合会研修会
10月13日(木)	学校訪問(第七小学校)
	第19回教育委員会定例会 第1回教育委員会研修
10月28日(金)	第20回教育委員会定例会
	第2回総合教育会議
11月1日(火)	学校訪問(立川第七中学校)
11月2日(水)	研究発表会(柏小学校)
11月10日(木)	第21回教育委員会定例会
	立川市立中学校PTA連合会と教育委員会との懇談会
11月24日(木)	学校訪問(上砂川小学校)
	第22回教育委員会定例会
12月8日(木)	学校訪問(立川第一中学校)
	第23回教育委員会定例会
12月14日(水)	立川国際中等教育学校附属小学校視察
12月15日(木)	東京都市町村教育委員会連合会第四ブロック研修会
12月26日(月)	第24回教育委員会定例会



学校訪問(第七小学校)の様子



教育委員会研修の様子

☎教育総務課庶務係・内線2465

令和4年度 立川市教育委員会表彰

立川市教育委員会では、令和3年11月から令和4年12月の期間内に教育、文化、体育などで特に優秀な成績や功績をあげた個人または団体を対象に、教育委員会の規定に基づき表彰しています。今年度は2月5日(日)に開催した立川教育フォーラムにて表彰を行いました。

☎教育総務課庶務係・内線2465

令和4年度立川市教育委員会表彰 表彰者一覧

(順不同)

学校名	該当者(敬称略)	該当内容	
上砂川小学校	佐藤 つむぎ	住宅火災の初期対応	令和3年11月に発生した住宅火災において、親子で連携し、発見、通報、救助活動を行った
上砂川小学校	津田 美咲		
上砂川小学校	日光 理空		
上砂川小学校	藤田 蒼依		
立川第五中学校	津田 翔太郎		
第五小学校	香川 朔忠	第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	男子10歳以下50m自由形 出場
第五小学校	安部 航平	第25回関東小学生相撲優勝大会	4年生以下の部 第3位
第八小学校	本多 美羽	第22回全日本少年少女空手道選手権大会	形競技小学校2年生女子 優勝
第九小学校	PALU MUTI	第34回全日本小学生相撲優勝大会	5年生の部 第3位
幸小学校	福地 南実	第46回ピティナ・ピアノコンペティション	連弾初級A 金賞
立川第一中学校	宮下 暖大	第10回近代3種日本選手権大会兼 第17回JOCジュニアオリンピックカップ	近代2種の部中学生男子 第1位
立川第三中学校	小山 龍太郎	令和4年度全国中学校体育大会 第62回全国中学校水泳競技大会	男子100m自由形 出場
立川第八中学校	津久井 美宇	JOCジュニアオリンピックカップ未来くん杯第16回全国中学生空手道選抜大会	1年女子形 出場
東京学芸大学附属小金井中学校	岡部 那由多	第18回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクール	カテゴリーA(15歳以下) 入選
国立音楽大学附属中学校	加登 愛依子	第16回全日本芸術コンクール	ヴァイオリン部門中学生 第2位
—	江村 美咲	フェンシング世界選手権	女子サーブル金メダル 団体戦銅メダル
—	岡田 海緒	第24回夏季デフリンピック競技大会	陸上女子1500m 銅メダル
—	尾壽 紗映	ソニー生命カップ第44回全国レディーステニス大会	優勝
—	中島 佑気ジョセフ	第18回世界陸上競技選手権大会	男子4×400mリレー 第4位

新たに1人の方が 教育委員に任命されました

嶋田敦子委員の任期満了〔令和4年12月24日(土)〕に伴い、12月20日(火)に開催された令和4年第4回市議会定例会において議会の同意を得て、12月25日(日)に小柳郁美氏が教育委員に任命されました。

これに伴い、教育委員の構成は次のとおりとなりました。



小柳 郁美委員

職名	氏名	任期
教育長	栗原 寛	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日
教育長職務代理者	石本 一弘	自 令和2年12月24日 至 令和6年12月23日
委員	伊藤 憲春	自 令和3年12月24日 至 令和7年12月23日
委員	小林 章子	自 令和元年12月25日 至 令和5年12月24日
委員	小柳 郁美	自 令和4年12月25日 至 令和8年12月24日

☎教育総務課庶務係・内線2465

第19回 「立川教育フォーラム」を 開催しました!

新型コロナウイルス感染症の拡大とともない、令和2年度から3年度までの2年間はオンライン配信としましたが、本年度は2月5日(日)に第一小学校体育館にて3年ぶりに対面形式にて開催いたしました。小・中学校の教育活動について、その取組を紹介するとともに、特別講演では、恵泉女学園大学名誉教授の岩村太郎氏から、「10歳の君に贈る、自己肯定感をもつ大人になるための哲学者の言葉」と題し、子どもたちへの未来に向けたメッセージを伺いました。

立川教育フォーラムとは?

立川市の教育の充実と推進を図るため、保護者、市民、教職員が一堂に会した場で、教育実践等を紹介するフォーラムです。平成16年度から開始し、今年度で19回目を迎えました。学校教育を通して、よりよい社会をつくるために、私たちがすべきことは何かを考える取組です。

☎指導課・内線2499



大山小学校に 市内2校目の自閉症・情緒障害特別支援学級 にじいろ学級を開設します

令和5年4月に本市小学校で2校目となる自閉症・情緒障害特別支援学級を大山小学校に開設します。新しい学級の名前は「にじいろ学級」に決まりました。この名前は、大山小学校の児童からたくさんのアイデアが出た中で生まれました。“十人十色”という言葉からヒントを得たそうです。「人は一人ひとりに違う色(=個性)があり、たくさんの色(=にじいろ)が集まり、みんなが楽しく学校に来ることができるといいな」という思いが込められています。

発達障害等のお子さんを 対象とした学級です

この学級は、知的障害特別支援学級と異なり、発達障害等の特性に合わせた指導を行うことで児童の成長を支えています。

学級では、児童それぞれに作成した個別指導計画に基づき、児童の学習する力や集団に適應する力を伸ばすための個に応じた

指導を行うとともに、通常の学級との交流および共同学習を行っていきます。

開設準備を進めています

学級の開設に向けて、教室の工事を行うほか、備品や教材の購入を進めています。教室の環境がおおむね整う令和5年3月には、入級を予定している児童と大山小学校の児童を対象に、教室見学を行う予定です。

市では今後も一人ひとりのニーズに合わせ、子どもたちの持っている力を伸ばすための教育を進めていきます。

新年度、新たに誕生する「にじいろ学級」をよろしく願います。



学級名を決めてくれた子どもたち

校長先生からのメッセージ



立川市立大山小学校
校長 杉山浩規

令和5年4月1日に、立川市で2校目の「自閉症・情緒障害特別支援学級」が本校に開設されます。

本学級は、人との関わり方に苦手さを感じたり、本人の特性から通常の学級での活動に難しさを感じたりしている子どもたちが学ぶ場所となります。

私たち人間は、様々な個性をもっています。本学級の開設は、みんなそれぞれの違いを認め合い、支え合い、互いに高め合っていく「みんなの大山小学校づくり」の本当の意味でのスタートだと私は考えています。

本学級の名称である「にじいろ学級」ですが、この名前には大山小学校の子どもたちや保護者、地域の皆様方のたくさんの想いが込められています。その核となるのが、お互いの多様性を尊重し認め合うことを通して、みんなで大きく成長してほしいという願いです。

新しい学級の誕生を本校の新たな教育の機会として、子どもたちの教育活動に生かしていくとともに、にじいろ学級に通う子どもたちが安心して学べる環境を全教職員で構築してまいります。

本校の教育活動へのご理解とご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

☎教育支援課 ☎(527)6171

立川市錦町3-2-26 子ども未来センター 1階 受付時間：月～金曜(祝日を除く) 9時～17時



ビブリオバトル交流戦を 開催します

中央図書館では、「第10回ビブリオバトル交流戦」を開催します。

ビブリオバトルとは、「知的書評合戦」とも呼ばれています。「バトラー」と呼ばれる発表者が、読んでおもしろいと思った本を紹介し合い、観覧者を含めた全員でディスカッションします。最後に「どの本が一番読みたくなったか」を投票して、チャンプ本を決めるというコミュニケーションゲームです。発表者だけでなく観覧者も投票に参加できる楽しいイベントです。



対 ①バトラー＝市内在住・在学の中学生

②観覧希望者＝どなたでも

時 3月28日(火)午前9時30分から

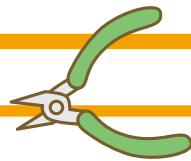
場 女性総合センターアイム5階 第3学習室

定 ①12人程度 ②30人程度

申 2月14日(火)までに直接または電話で中央図書館 ☎(528)6800へ

※感染状況により中止となる場合があります。くわしくは図書館のホームページをご覧ください。

ものづくりの楽しさを体感!



小学校で「出張プラモデル教室」を開催

小学校6校において、株式会社壽屋の指導のもと、「出張プラモデル教室」を開催し、プラモデルの組み立てを体験しました。

これまででも小学校の理科の授業では、乾電池を使ったプロペラカーや電磁石を利用したコイルモーターなどを、説明書を見ながら作ることはありましたが、本格的なプラモデルを組み立てるのは初めてという児童が多かったようです。

プラモデルの組み立て体験を通して、「説明書を理解して読み解き、順番通りに組み立てるための読解力や理解力」、「丁寧にパーツを切り取り組み立てる集中力」、「完成品を使って遊ぶ創造力」など、楽しみながら身に付けられる力があるのではないのでしょうか。

今年度もものづくりの楽しさを体験できる機会をいただきましたこと、また来年度においてもご協力いただきます株式会社壽屋に感謝申し上げます。

今後も学校教育の充実を図るにあたり、地域の皆様の力をお借りできればと思います。

☎指導課・内線2497



三小



八小



新生小

祝

立川市立第九小学校は 創立150周年を迎えました



150周年の人文字

明治5(1872)年、砂川村によって流泉寺の境内に西砂川小学校が開校されました。昭和38(1963)年、立川市と砂川町との合併により砂川第二小学校と改称され、昭和40(1965)年、現在の第九小学校となりました。

令和4年11月26日(土)、創立150周年の記念式典を開催し、6年生が「よろこびの言葉」と人文字を披露しました。式典後のお祝い集会では、各学級が作製したモザイクアートの紹介や和太鼓クラブの演奏、子どもたちが毎年手作りする「コッコみそ」の販売もありました。最後は打ち上げ花火が初冬の夜空を飾り、喜びと感動にあふれる一日を締めくくりました。



モザイクアート



和太鼓クラブの演奏



150周年を祝う校舎屋上の看板

問学務課学務係・内線2517

立川市の
歴史と
文化財

50

資料館で一番「長い」資料とは？

本コーナーも、ついに50回目を迎えました。今回は長く続いているこのコーナーにちなんで、当館所蔵の民俗資料(用具)としては一番「長い」蛇籠をご紹介します。

蛇籠とは、河川の護岸工事に土砂止めや水流制御のために古くから使用されてきた籠のことです。亀甲形に粗く編んだ円筒形の籠のなかに割栗石や河原石を詰めて堤防の法面に並べたり、積み上げて使用します。蛇籠という名称は、その形が大蛇の伏した姿に似ているからといえます。蛇籠の素材には古くから竹が使われてきましたが、柳や粗朶(細い木の枝)、藤蔓、葡萄蔓なども使われました。

近年、記録的な異常気象が相次ぎ、川の氾濫など各地で被害が報告されています。



写真1 市指定有形文化財「柴崎村絵図」(部分)にみえる水制用具(○枠の箇所) ★印は現在歴史民俗資料館がある場所で、上が北、下が南の方角です。



写真2 当館所蔵の蛇籠

す。立川付近でも、令和元(2019)年の台風19号による豪雨災害で、多摩川に架かる日野橋の橋脚が一基沈下し、通行止めとなったことは記憶に新しいところです。昔から、多摩川はその流域に暮らす人々に多くの恩恵をもたらす一方で、重大な水害をも引き起こしてきました。江戸時代の観光ガイドブックともいうべき『江戸名所図会』の多摩川の項にも「雨後杯には渡口移転して定まる事なし」とあるほど、暴れ川としても知られていました。

昨秋、当館では企画展「多摩川と立川―利水と災害―」を開催しました。同展に出品した享和4(1804)年の「柴崎村絵図」にも、多摩川の河畔に牛杵(杭状の部材を三角錐や方錐状に組んだもの



写真3 蛇籠の製作(昭和46〔1971〕年)

に石を詰めた水制用具)や蛇籠と思われる道具を示すような図が描き入れられています(写真1)。昔から、流域に暮らす人々が川の水流の強弱を読み、護岸のための工夫を凝らしていたことが絵図からも見て取れます。

当館所蔵の蛇籠は、竹製で長さ約3m、80cm、円筒の直径約35cmのもので、なかに詰められていた石は保存されています(写真2)。この蛇籠については川のどのあたりに、いつまで設置されていたものかなど、具体的な記録が遺されておらず判然としませんが、蛇籠自体は、製作風景(写真3)や堰の写真から、昭和46(1971)年にはまだ実用されていたことがわかります。

歴史民俗資料館では、2月19日(日)まで、本稿で紹介した蛇籠など、多摩川河畔に暮らす人々の生業道具や、人々の生活の道具を展示した企画展「暮らしの暮らしの道具たち」を開催しています。資料館まで来てみませんか？

問歴史民俗資料館(生涯学習推進センター文化財係) ☎(525)0860